

学部長メッセージ

経済学部の新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。

また2回生以上の在学生の皆さんは、新たな気持ちで新学期をスタートされていることと思います。

本年度より経済学部長に就任した西本です。

現在、日本をはじめ世界中の国々で経済不況が長引き、先行きが不安定だと言われています。

そんな中で、経済データの分析や計画立案のプロフェッショナル、世界経済の知識を豊富に得て、国際舞台での活躍を目指そうとする若い皆さんには、社会から大きな期待が寄せられています。

我々龍谷大学経済学部のスタッフは、様々な講義や大学・学部の活動を通して、そのような皆さんの成長を見守り、懸命にバックアップしたいと心から思っています。

■学生時代は失敗が許される:

ありふれた言葉ですが、目標を持って下さい。

授業で優秀な成績を取る、この科目だけは一番になる、いっぱい資格を取る、外国語を人より巧みに話せるようになる、ボランティア活動に参加し困った人々を助ける、体育サークルを一部に上げる、部活で皆をまとめる、プレゼンコンテストに入賞する、一週間に一冊は本を読む、毎週ジムに通う……。

そうです、何でもいいんです。

勝ち組、負け組というイヤな言葉がありますが、目的を達成した人を勝ち組と呼ぶならば、負け組とは、何もしようとしていない人、力を出し切らず途中で諦めてしまったことをいうのでしょう。頑張っている人、ちょっと失敗してしまったけれど、また頑張ろうと別の目標にむかっている人は負けてはいないのです。

少し見わたせば、大学や皆さんの周りに、今の目標、そして次の目標を見つける種がたくさんあるのに気づくはずですよ。

■一人ではない:

いまこうして龍谷大学に通えるのも、家や下宿に帰りホッと一息つけるのも、お父さん、お母さん、保護者の方の目に見えない支援があるおかげです。多くの仲間やクラスメート、先生や事務職員の皆さんも、あなたの味方です。

困ったなあ、どうしようかなあ、と思ったら、いつでも周りの人に声をかけてみて下さい。皆同じようなことで困っていたり、自信を失っていたりするものです。それらを共有するだけでも気分が晴れて、また目標探しができるようになります。

■経験することで自分を伸ばせる:

どこかに海外旅行に出かけたり、突然街で外人さんに声をかけられて、呆然としたり冷や汗をかいたり、あらためて自分の語学力のなさに気づいた人は多いでしょう。そこで、ようし語学の授業を一生懸命受けてやる、とかラジオ講座を聴き続けるぞとか、固い決意を誓った人も少なくないはずですよ。スポーツや健康維持でも同じような場面に遭遇したことがあると思います。

ほとんどの人は本気で困ったり、あせったりしないと学習意欲に結びつかない怠け者です。ぜひ様々な体験の場を得て下さい。そして挑戦力を身につけて下さい。

授業でいえば経済学部は、地域参加型授業やフィールドワークの豊富なメニューを自慢にし、皆さんの参加を待っています。

■私の好きな言葉:

失敗ばかりの私は、落ち込んだ時、いつも次の言葉を思い出すようにしています。

The most glorious moments in your life are not the so-called days of success,
but rather those days when out of dejection and despair you feel rise in you
a challenge to life, and the promise of future accomplishments. (G.Flaubert)

君の生涯の最も輝かしい日は、いわゆる成功の日ではなく、
悲嘆と絶望の中から、生への挑戦の気持ちと、
今に見ろ、やってみせるぞ、という気持ちとが湧き上がるのを
感じる日である。(ギュスターヴ・フローベール)

経済学部長 西本 秀樹